

○:調達対象として検討
●:医療機器等を含めて別途調達として検討
◆:業務委託に含めて委託先業者による調達を想定。
△:電子カルテシステムや他システムの機能で代用。
■:別途調達するシステムと連携を行う。

添付2 医療情報システム一覧

大分類		業務分類		システム名	システムの概要	システム化に対する要求事項(特記事項)	区分	システム導入検討条件等
A:一次利用	1	診療支援	1	電子カルテシステム	カルテ・オーダーリング・看護支援含む	・添付1システム化対象業務一覧に示す医療行為(記録作成、オーダー登録、実施登録等)に対応できること。 ・大阪公立大学医学部附属病院本院のテンプレートと同様な入力項目を作成可能なテンプレート機能を有すること。 ・厚労省標準マスタを採用すること。 ・電子処方箋に対応できること。 ・電子カルテ情報共有サービスの対象となる2文書5情報に対応できること。 ・電子カルテ情報共有サービスへの将来的な連携に対応できること。(HL7 FHIRへの対応) ・点滴注射等のバーコードによる3点認証を行えること。 ・検査部門システムはブランチラボで用意するが、電子カルテシステムから直接、採血管準備装置、検体・細菌検査の検体ラベルプリンタへの出力が可能なこと。	○	・病床規模に合わせたグレードのシステムを選択 ※スモールスタート運用に伴い、開設当初は、2病棟(認知症病棟、一般病棟)での運用開始となるため、それに必要な端末等を整備し、順次増設する想定である。 ・電子処方箋での医師資格確認をICカード(HPKIカード)で行う場合は、二要素認証と同じICカードリーダーで認証を行えること。 ・電子処方箋での医師資格確認については、スマートフォンまたはマイナンバーカードを用いたHPKIセカンド電子証明書への対応も考慮すること。
			2	診断書作成支援システム	保険会社等向け診断書の作成		○	
			3	診療情報管理システム	病歴管理、退院サマリ等の作成	・診療録管理体制加算及びデータ提出加算の施設基準を満たせるような症例管理を行えること	△	・電子カルテシステム、DWHシステム等の機能で、診療録管理体制加算及びデータ提出加算が求める診療情報管理を行える場合は、専用システムを必要としない。
			4	診療文書管理システム	紙文書のPDF保存等	・電子署名、タイムスタンプによる原本の電子保存に対応すること	○	
			5	自科検査システム	診察室・病棟等での自科検査室、デジタルカメラや検査装置などから出力される画像データの取得と管理を行う	・PDF形式、Jpeg形式等の汎用形式の画像データ及び耳鼻科内視鏡システムの動画(AVI形式、MP4形式等)のファイリングとする。 ■検査装置接続は以下を想定 ・聴力・平衡機能検査管理端末 ・眼球運動検査装置 ・重心動揺計 ・呼吸機能情報管理システム ・耳鼻科内視鏡システム ※台数、配置等の詳細は添付4 医療情報システム接続対象医療機器一覧を参照	△	・電子カルテシステム、画像管理システム(PACS)等の機能で対応可能であれば追加システムは不要。対応できない場合は、要求事項を実現するためのシステムを必要とする。 ・内視鏡システムからのDVI出力を動画に変換するために変換器等が必要となる場合は用意すること。

○:調達対象として検討
●:医療機器等を含めて別途調達として検討
◆:業務委託を含めて委託先業者による調達を想定。
△:電子カルテシステムや他システムの機能で代用。
■:別途調達するシステムと連携を行う。

添付2 医療情報システム一覧

大分類		業務分類		システム名	システムの概要	システム化に対する要求事項(特記事項)	区分	システム導入検討条件等
A:一次利用	2	特殊診療科支援	1	眼科支援システム	眼科特有の記載、眼底カメラ、その他眼科検査機器の検査結果の取得と管理	・眼科検査機器の結果を電子的に取得し管理できること。 ・眼科検査装置が検査結果を数値として出力できる場合は、数値情報として取得でき、取得された数値情報を時系列的に表示できること。 ・眼科検査機器出力データ共通仕様書(JOIA Std.)に対応した機器について、検査結果等を自動で取得でき、時系列で比較表示できること。 ■接続機器は以下を想定 ・細隙灯顕微鏡(カメラシステム含む)☒ ・超音波画像診断装置(ABE-ド・顎台含む) ・非接触眼圧測定/角膜曲率半径・屈折測定装置 ・角膜内皮測定装置 ・レンズメーター ・光干渉式眼軸長測定装置 ・3次元眼底像撮影装置(アプジョ付) ・コントラスト感度測定装置 ・ハフリ-静的視野計 ※台数、配置等の詳細は添付4システム接続対象医療機器一覧を参照	○	
			3	患者サービス		・A4サイズの案内表印刷に対応できること。 ・マイナンバーカードによるオンライン資格確認に対応できること。 ■下記構成として想定する。 ・再来受付機×2台	○	
			2	外来患者案内システム	外来診療案内、診察室呼び込み表示	■下記構成として想定する。 ・診療案内表示×3台 ・診察室呼び込み表示×13台	○	
			3	会計呼び出しシステム	会計呼び出し表示	・入金情報による呼出番号の消込みに対応できること。 ■下記構成として想定する。 ・会計呼出し表示×1台	○	
			4	自動精算システム		・発行する領収書にはバーコード(駐車場割引用バーコード)を印字できること。 ・クレジットカードに対応すること。 ■下記構成として想定する。 ・自動精算機×2台	○	
	4	一般病棟	1	ナースコール連携	患者情報・所在情報の連携	・ナースコールシステムに、入床患者の情報(基本情報、移動情報)を送信できること。	■	※ナースコール本体は、建築本体工事として構築する。
			3	モバイルデバイス対応	電子カルテシステム等でのモバイルデバイスの利用	・注射実施時の3点認証に対応できること。 ・褥瘡患部撮影等のデジタルカメラ機能に対応できること。 ・モバイルデバイス×20台として想定する。	○	
A:一次利用	5	医事部門	1	医事会計システム		・医科のレセプトに対応できること。 ・レセプト返戻処理に対応できること。 ・未収金管理が出来ること。	○	・財務会計システム等で活用できるよう、窓口収入情報、診療収入情報、未払金情報等を、CSV形式等で出力できること。
			2	POSレジシステム		・POSレジ×2台として想定する。	○	
			3	診察券発行システム		・診察券発行機×1台として想定する。	○	

○:調達対象として検討
●:医療機器等を含めて別途調達として検討
◆:業務委託を含めて委託先業者による調達を想定。
△:電子カルテシステムや他システムの機能で代用。
■:別途調達するシステムと連携を行う。

添付2 医療情報システム一覧

大分類		業務分類		システム名	システムの概要	システム化に対する要求事項(特記事項)	区分	システム導入検討条件等
			4	オンライン資格確認システム	マイナンバーによるオンラインでの健康保険の資格情報を確認する	・オンライン資格確認用リーダー×3台として想定する。 ・オンライン資格確認による診療情報の参照に対応できること。	○	再来受付機にもマイナンバーカードによる資格確認機能を導入する。
			5	医事DWHシステム	レセプト処理された情報等、医事会計に特化した情報に対する検索・集計等への対応		○	B-1 DWHで扱えるのであれば統合してもよい。
			6	施設基準等への対応	1 様式1作成システム	データ提出加算への対応として様式1の作成	△	電子カルテ・医事会計システムの機能(標準/オプション)の範囲での運用とする。
				2 E/Fファイル作成システム	データ提出加算への対応としてE/Fファイルの作成	・E/Fファイル、および外来EF統合ファイルの作成にも対応できること	△	医事会計システムの機能(標準/オプション)の範囲での運用とする。
				3 Hファイル作成システム	看護必要度Ⅱへの対応としてHファイルの作成	・Hファイルの作成に対応できること。	△	電子カルテ・医事会計システムの機能(標準/オプション)の範囲での運用とする。
	7	薬剤部門	1	服薬指導システム	服薬指導の記録、管理		●	調剤関連機器とシステムは同一メーカーによる構成が求められるため、医療機器と合わせて調達する方針とし、関連システムもこれに含める。
			2	調剤業務支援システム	処方(内服、外用等)、注射関連業務の支援	・厚労省標準マスタを採用すること。 ・処方及び注射業務に対応できること。 ・処方及び注射業務に関連する機器に接続できること。 ・処方及び注射業務に関連する機器も含めて調達すること。 ■接続機器は下記を想定 ・処方調剤監査システム ・麻薬管理システム ・薬品管理自動調剤棚 ・自動散薬分包機 ・散薬監査システム ・薬袋プリンター ・自動錠剤分包機 ・一包化監査支援システム ・処方解析端末 ・処方箋プリンター ・お薬手帳プリンター ・水剤ラベルプリンター ・水剤監査システム ・注射解析端末 ・注射箋プリンター ・注射ラベルプリンター ・錠剤自動仕分返納装置 ※台数、配置等の詳細は添付4医療情報システム接続対象医療機器一覧を参照	●	調剤関連機器とシステムは同一メーカーによる構成が求められるため、医療機器と合わせて調達。
A:一次利用	7	薬剤部門	3	医薬品情報管理システム	医薬品情報検索、添付文書等医薬品情報の閲覧	・添付文書の検索、表示を行えること。 ・オーダリングシステムに併用禁忌、処方回数上限等の情報を提供出来ること。	●	調剤関連機器とシステムは同一メーカーによる構成が求められるため、医療機器と合わせて調達する方針とし、関連システムもこれに含める。
			4	持参薬管理システム	持参薬鑑別の記録	・持参薬鑑別の記録を残せること。 ・持参薬の処方関係ができること。	△	電子カルテシステムの機能(標準/オプション)の範囲での運用とする。

○:調達対象として検討
●:医療機器等を含めて別途調達として検討
◆:業務委託を含めて委託先業者による調達を想定。
△:電子カルテシステムや他システムの機能で代用。
■:別途調達するシステムと連携を行う。

添付2 医療情報システム一覧

大分類		業務分類		システム名	システムの概要	システム化に対する要求事項(特記事項)	区分	システム導入検討条件等
	8	放射線部門	1	放射線情報システム(RIS)	受付・実施・撮影装置連携(MWM)含む	・厚労省標準マスタを採用すること。 ・撮影装置への検査情報の送信(MWM)、撮影情報の取得(MPPS)等、DICOM通信に対応できること ・法的文書(照射録等)に対応できること ・核医学検査業務に必要な各種法的文書(廃棄等に係る法定文書等)に対応できること。 ・別途調達される医療機器と連携すること。 ■接続機器は下記を想定。 ・X線透視撮影装置 ・移動型X線撮影装置 ・X線一般撮影装置 ・FPDシステム ・全身用骨密度測定装置 ・全身用コンピュータ断層撮影装置 ・磁気共鳴診断装置(3T) ・SPECT装置 ・PET-CT装置 ・PET-CT装置専用WS ※台数、配置等の詳細は添付4医療情報システム接続対象医療機器一覧を参照	○	・RI検査におけるRI薬剤管理の機能を含めて検討する。 ・RIS用端末は、可能な限り電子カルテ用端末での相乗りとする。(相乗りできない場合は、別途RIS用端末を部門システムとして用意する。) ・RIS用端末の想定利用場所・台数は以下とする。 ・1F X-TV室×1台 ・1F ポータブル置き場×1台 ・外来スタッフ通路3×1台 ・1F 一般撮影操作室×3台 ・1F CT/MRI操作室×3台 ・2F 陽電子診察・処置室×1台 ・2F RI診察室×1台 ・2F PET-CT/SPECT操作室×2台 ・付属棟操作室×1台
			2	医用画像管理システム(PACS)	撮影装置連携含む	・DICOM通信に対応し、撮影装置から画像情報を取得し、保存・管理できること。 ・保存された画像に対する、画像ビューアを用意すること。 ・画像ビューアは、診察室等での画像参照用と、画像診断が可能な読影用を用意すること。 ・別途調達される医療機器と連携すること。 ■接続機器は、8-1 放射線情報システムの接続対象機器を参照のこと。 ■その他DICOM対応の機器は下記を想定 ・超音波画像診断装置 ・内視鏡システム ※台数、配置等の詳細は添付4医療情報システム接続対象医療機器一覧を参照	○	・デジタルカメラ画像(Jpeg形式)、検査装置から出力されるPDFファイルの登録・管理が可能であれば、PACSでの管理を検討する。
			3	読影レポートシステム	読影レポートの作成・管理	・読影環境として読影用端末は、高精細モニタ2台＋サブモニタの構成とする。	○	・読影用端末は、可能な限り電子カルテ用端末との相乗りとする。(相乗りできない場合は、別途読影用端末を部門システムとして用意する。) ・読影用端末の想定利用場所は、台数は以下とする。 ・1F X-TV操作室×1組 ・1F CT/MRI操作室×1組 ・1F 読影室×4組 ・2F 読影室×3組

○:調達対象として検討
●:医療機器等を含めて別途調達として検討
◆:業務委託に含めて委託先業者による調達を想定。
△:電子カルテシステムや他システムの機能で代用。
■:別途調達するシステムと連携を行う。

添付2 医療情報システム一覧

大分類		業務分類		システム名	システムの概要	システム化に対する要求事項(特記事項)	区分	システム導入検討条件等
A:一次利用	8	放射線部門	4	検像システム	撮影画像の確定、撮影装置連携含む	■接続対象機器は、8-1 放射線情報システム、及び8-2 医療画像管理システムの接続対象機器を参照のこと。	○	・検像用端末は、可能な限り電子カルテ用端末との相乗りとする。(相乗りできない場合は、別途検像用端末を部門システムとして用意する。) ・1F X-TV室操作×1台 ・1F 放射線受付(外来スタッフ通路3)×1台 ・1F 一般撮影操作室×1台 (対象機器:単純撮影×2台、骨密度測定×1台) ・1F CT/MRI操作室×2台 (対象機器:CT×1台、MRI×1台) ・2F PET-CT/SPECT操作室×2台 (対象機器:PET-CT×1台、SPECT×1台) ・付属棟操作室×1台 (対象機器:単純撮影×1台)
			5	被ばく線量管理システム		■対象機器は下記を想定。 ・X線透視撮影装置 ・全身用コンピュータ断層撮影装置 ・SPECT装置 ・PET-CT装置 ※台数、配置等の詳細は添付4医療情報システム接続対象医療機器一覧を参照	●	医療機器として別途調達するシステムとの連携を想定。
			6	画像取込・出力システム	紹介患者持参の画像CD取込及び紹介用画像CDの作成	・画像CDの取込み及び書き込み用端末1台構成。 ・画像CD作成時のラベル印刷機能を含む。	○	
			7	汎用画像ワークステーション			■	医療機器として別途調達するシステムとの連携を想定。
	9	検査部門	1	検体検査システム	受付・検査結果管理・検査機器連携含む	・厚労省標準マスタを採用すること。 ・別途調達される医療機器と連携すること。 ■接続機器は下記を想定。 ・自動採血管準備装置 ・バルンカップラベラー ・ラベルプリンター ・生化学自動分析装置 ・多項目自動血球分析装置 ・全自動尿統合型分析システム ・全自動化学発光酵素免疫測定システム ・血液ガス分析装置 ・便潜血測定装置 ・自動浸透圧測定装置 ・輸血自動分析装置 ・尿化学分析装置 ※台数、配置等の詳細は添付4医療情報システム接続対象医療機器一覧を参照	◆	※プランチラボ導入のため、委託業者により構築するシステムとの連携を想定。
			2	細菌検査システム	受付・検査結果管理・検査機器連携含む		◆	※プランチラボ導入のため、委託業者により構築するシステムとの連携を想定。
			3	外注検査連携システム	検査外注への検査依頼及び検査結果の受領		◆	※プランチラボ導入のため、委託業者により構築するシステムとの連携を想定。

○:調達対象として検討
●:医療機器等を含めて別途調達として検討
◆:業務委託に含めて委託先業者による調達を想定。
△:電子カルテシステムや他システムの機能で代用。
■:別途調達するシステムと連携を行う。

添付2 医療情報システム一覧

大分類		業務分類		システム名	システムの概要	システム化に対する要求事項(特記事項)	区分	システム導入検討条件等
			4	輸血システム	製剤払い出し、輸血認証・実施の管理	・輸血製剤のバーコードによる3点認証を行えること。	△	・輸血検査機器は検体検査システムとの連携範囲で運用できないか検討する。 ・日赤製剤等のバーコードによる認証(3点認証)を行うための最低限の機能について、電子カルテの標準またはオプション機能の範囲を想定する。 ・日赤製剤の入庫処理では、輸血用血液製剤の新バーコード(GS1 Databar)による1回の読み込みに対応できること。
A:一次利用	9	検査部門	6	生理検査システム	生理検査の受付・実施管理		△	・検査の受付・実施入力、電子カルテシステム機能(オプション含む)の範囲で運用を目指す。 ・検査機器の結果は、機器が出力するレポート(紙)のスキャン取り込み、または画像管理システム(PACS)で対応可能な範囲での運用を目指す。
			7	超音波検査レポートシステム	エコー検査レポート(所見)の作成と管理		△	・電子カルテシステム機能(オプション含む)の範囲での運用を目指す。
			8	生理検査ファイリングシステム	心電図、脳波等の波形イメージのファイリング。	・オーダ情報(患者情報)を連携し、検査機器が出力する結果(波形イメージ)と対象患者の紐づけを行うこと。 ■接続対象機器は下記を想定。 ・心電計 ・脳波計(波形をPDF等として保存) ※機種、台数、配置等の詳細は添付4医療情報システム接続対象医療機器一覧を参照	●	
	10	手術部門	1	手術管理システム	手術予定管理・手術実施管理・手術台帳管理		△	・手術の予定管理、受付、実施入力、台帳管理は、電子カルテシステム機能(標準/オプション)の範囲での運用を目指す。
			2	麻酔記録システム	麻酔記録含む	・別途調達される医療機器と連携すること。 ■接続機器は下記を想定。 ・生体情報モニター ・麻酔モニター	○	・医療機器メーカーのスタンドアローン型麻酔記録装置で運用できないか検討する。 その際は医療機器との組み合わせによる調達についても検討する。 ※スモールスタート運用に伴い、開設当初は2室運用に合わせて必要な端末を整備し、順次増設する。
	11	リハビリ部門	1	リハビリシステム	リハビリ患者管理、リハビリ計画(実施計画)管理、リハビリ予定(患者・療法士)管理、実施管理等を行う		○	
	12	栄養部門	1	栄養指導管理システム	栄養指導の管理と指導記録の作成・管理		△	・電子カルテシステム機能の範囲での運用を目指す。
			2	給食栄養管理システム	献立作成・食数管理・食札作成・食材管理		○	
	13	健診部門	1	健診システム	認知症健診(ドック)を中心とした健診業務の管理、報告書の管理 ※特定健康診査は実施しない	・利用者はカルテ番号を発番し、病院の患者と同様に管理できるよう、医事会計システム等と連携すること。 ・検体検査の結果については、他のシステムと連携して取得できること。 ・健診来院時の受付情報は、電子カルテシステム等と連携できること。	■	・予約情報、検査に関するオーダー情報については、電子カルテシステムと連携できることが望ましい。 ・健診結果の判定時には、同一端末上で画像ビューア等で検査結果を確認できること。 ※電子カルテシステム等とは別に調達する。
	14	地域医療連携	1	紹介管理システム	紹介患者の紹介先・紹介元等の管理 紹介状(診療情報提供書)の作成、返書管理	・紹介状受領に伴う、紹介元の管理、紹介状の管理が行えること。 ・紹介状に対する返書作成の管理が行えること。 ・他施設への紹介状の作成、紹介先の管理が行えること。(逆紹介)	△	・電子カルテシステムの機能、あるいは地域医療連携システムの機能で対応できる場合は追加システムを必要としない。

○:調達対象として検討
●:医療機器等を含めて別途調達として検討
◆:業務委託を含めて委託先業者による調達を想定。
△:電子カルテシステムや他システムの機能で代用。
■:別途調達するシステムと連携を行う。

添付2 医療情報システム一覧

大分類		業務分類		システム名	システムの概要	システム化に対する要求事項(特記事項)	区分	システム導入検討条件等
			2	地域医療連携システム		・外部の医療機関からWEB方式(専用のソフトウェアのインストールを必要としない)にて当院の診療予約を取得できること。 ・電子カルテ情報共有サービスに対応できるよう、HL7- FHIRに対応できること。 ・SS-MIX2標準ストレージ/拡張ストレージを構築すること。	○	・診療所等からの予約取得に合わせ、予約表を発行できることが望ましい。 ・診療所から、オンラインで紹介状を作成できることが望ましい。
B:二次利用			1	DWHシステム	症例検索、臨床研究等の目的で各種情報の検索・抽出・集計などを行う	・DWHのデータによるデータ分析を円滑に行えるよう、SDMIに準拠したデータ定義等、大阪公立大学医学部附属病院本院と共通構造で扱える型式とすること。	○	・当面は新病院内のみで運用できる範囲までの構築とする。 ・研究棟での研究利用を行う場合は、DWHからデータを抽出してから研究利用する。
			2	汎用DWH連携	学術研究を目的とした汎用DWHと連携する	・大阪公立大学医学部附属病院本院で採用している汎用DWHを研究用に別途調達する。この汎用DWHに必要な情報を連携すること。	■	・汎用DWHとして、大学病院本院で採用しているJustDWH、CLISTA相当の汎用DWHとの連携を想定する。
C:間接業務支援			1	看護勤務管理システム	看護職の勤務割(日勤・夜勤・研修等)の計画作成・実施管理を行う	・時間外勤務管理機能を含める。	○	・大学の人事システムとの連携は、勤務情報をCSVファイルで出力し、人事システムに取り込む方式で運用する。
			5	医療安全管理システム	インシデントレポートの作成、管理を行う	・インシデントレポート・ヒヤリハットレポートの作成、査読、承認等の管理を行えること。 ・各レポートの分類別集計が行えること。 ・医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業への報告のためのデータを出力できること。	○	・インシデントレポート、ヒヤリハットレポートの作成を、電子カルテ端末から行えること。

○:調達対象として検討
●:医療機器等を含めて別途調達として検討
◆:業務委託を含めて委託先業者による調達を想定。
△:電子カルテシステムや他システムの機能で代用。
■:別途調達するシステムと連携を行う。

添付2 医療情報システム一覧

大分類		業務分類		システム名	システムの概要	システム化に対する要求事項(特記事項)	区分	システム導入検討条件等
D:共通			1	セキュリティ対策	サーバー機器、クライアント端末等のコンピュータ機器に対するウィルス・マルウェア対策	・ウィルス対策・マルウェア対策のためのパターンデータを常に最新化できること。 ・各端末はインターネット接続できないため、パターンデータ取得のためのセキュアなしくみを用意すること。	○	
			2	医療辞書システム	日本語・医療用語の入力時変換機能	・単語登録辞書は、(電子カルテシステムに)ログインしたユーザー毎に管理でき、端末を移動しても同一ユーザーの辞書を利用できること。(ログインアカウント単位で登録した辞書が保持されること。)	○	
			3	ファイル共有システム	HIS系端末からファイル共有を行う	・HIS系端末からアクセス可能な共有フォルダを用意し、文書データ等を格納・編集・参照できること。	○	
			4	二要素認証システム	ICカードなどを用いた、ID+パスワード以外の要素を含めた認証を行う	・全端末で二要素認証を行えるよう、ICカードリーダを必要数用意すること。	○	厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第6.0版」により、令和8年時点で稼働しているシステムには二要素認証が求められるため導入が必要。 ・電子処方箋での医師資格確認をICカード(HPKIカード)で行う場合は、同じICカードリーダーで認証を行えること。
			5	外部からの攻撃に対する安全管理措置	医療情報システムの安全管理に関するガイドラインにおける「18.外部からの攻撃に対する安全管理措置」への対応	・数世代のバックアップを複数の方式で取得できること。 ・取得したバックアップについて不正ソフトウェアの混入による影響が及ばない手段で管理できること。 ・サイバー攻撃にあった場合でも、診療業務の継続や速やかに復旧を行える仕組みを構築できること。	○	
			6	ネットワーク内部の安全管理措置	医療情報システムの安全管理に関するガイドラインにおける「13.ネットワークに関する安全管理措置」への対応	・ネットワークに接続された機器の可視化 ・不正接続の防止 ・サイバー攻撃の検知や遮断 ・アプリケーションや通信の監視	○	
E:インフラ			1	ネットワークインフラ(HIS系)	医療情報システムとして利用するネットワーク(HISを系)のネットワーク設計・機器・配線 他	・医療情報システムとして利用するネットワークの、ネットワーク設計、機器の調達及び設定、配線工事等を行うこと。 ・配線等工事は、病院棟、研究棟、付属棟、管理棟を対象とし、添付7医療情報システム端末・LAN配置計画、及び添付8無線LAN配置計画に基き配線工事を行うこと。	○	・サーバー室内にサーバー機器を設置するための、サーバーラック(42U)を用意すること。(ラック8本分) ・EPS内にスイッチを設置するためのラックを用意すること。 ・病棟用無線APIについては、複数のSSIDに対応できること。(SSIDにより周波数帯を変更できることが望ましい。)